

賀川豊彦の胸像完成

30人出席 記念館で除幕式

川西在住彫刻家が制作

中央区 神戸ゆかりの在住の彫刻家、サブロ（中央区吾妻通）で21日、除幕式があり、柔らかな笑みを再現した像がお披露目された。賀川は兵庫区の出

身。中央区のスラムで診療所を開設するなど貧困救済に取り組んだ。コープこうべの前身「神戸購買組合」の設立に携わり、1923年の関東大震災では救援活動のため上京した。

胸像は、昨年4月に同館が開館50周年を迎えたことを記念して制

作の解説をする制作者のサブロウコスギさん（中央）と集まった関係者＝賀川記念館

作。61歳の賀川が、スモデルにした。1ツに身を包んだ姿を 同館元館長の村山盛

嗣さん（82）＝西区＝ら6人が除幕。本人そっくりの像に、集まった関係者約30人から驚きの声が上がった。賀川の孫で、今年9月に61歳で亡くなった賀川督明・同館館長も完成を心待ちにしていたといい、同館の西義人参事（71）は「館長も喜んでくれていると思う」と目を細めた。

（田中宏樹）

年）の胸像を、川西市 介する「賀川記念館」

中央区

神戸ゆかりの 在住の彫刻家、サブロ（中央区吾妻通）で21日、除幕式があり、柔らかな笑みを再現した像がお披露目された。賀川は兵庫区の出

身。中央区のスラムで診療所を開設するなど貧困救済に取り組んだ。コープこうべの前身「神戸購買組合」の設立に携わり、1923年の関東大震災では救援活動のため上京した。

胸像は、昨年4月に同館が開館50周年を迎えたことを記念して制

作の解説をする制作者のサブロウコスギさん（中央）と集まった関係者＝賀川記念館

念館

